

広報こすど

発行所 小須戸町公民館
編集者 矢部 藤三郎

明かるい社会は 我々の手で築かん 成人の日によせて

一月十五日成人の日。国民として生れた二十二年最も意義ある祝日を受ける記念の日である。当町に於ても小須戸小学校で、成人該当者一八一名、求道多数をむかえ盛大におこなわれた。本年は該当者の中より左記の四名の代表により、成人となった自覚と共に将来への決意を強く発表し参列者に深い感銘を与えた。

自分のペースで 理想を実現

小須戸 加藤 ヨシ

世界がめまぐるしく変り、一定時制なんて学校を休む今日、成人の日を大きな喜びと期待とそして不安を持って迎えました。このとき日に定時制生徒としての体験を發表させていただきます。

いつもおくれる いやな人

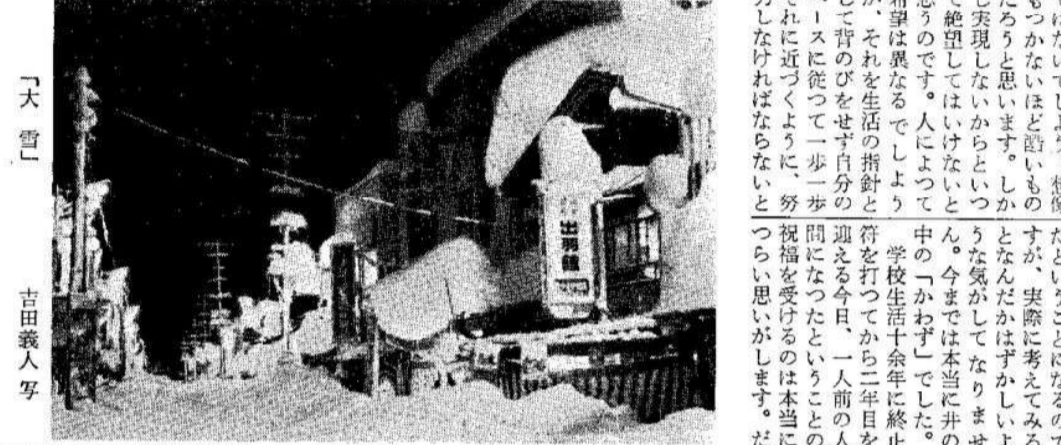
新生活入選標語

事を学んだのです。又同じ立場で学ぶ者としてお互いに助け合い励まし合う人間同志の暖かい心の触れ合いを知ったのです。

農村生活の合理化は われらの課題

矢代田 穴 沢 巖

今日は又我々のために盛大なる催しをしていただき誠に有難く感謝申上つた。我々は成人となつた。我々は成人となつた。我々は成人となつた。



「大雪」
吉田義人写

健康的で文化的な 人となろう

新保 間野 明子

私の二十才の夢、それは争の惨禍を直接経験するすべての人々の生活が健康で文化的なものになるように、戦後の消費物資の乏しい中、育てて来た若者が各々が努力して、若者の責任であるべきことを今日このよき機会に果たすことである。

家を 月給で生きる

井 白 向

成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。成人式が来る。

実現に努力すべきではないだろうか。「私の生活はこれで充分だ」といふ人は何人もいないはずである。自分達の要求する事に對して自信をもち実現に努力すべきではないだろうか。

映写会

2月6日(月) 午1時と7時より
会場 公民館ホール
●露地裏の灯 (白黒)
●アラスカに築く (カラー)
●日本の舞踊 (カラー)

